

左利きの人も過ごしやすい社会に！ 書字時のストレス調査！ ～言語によって感じるストレスは変わるのか？～



団体名

SOUTHPAW

人間文化学部

採択枠

海外活動枠

渡航国

韓国 ソウル

訪問先

ヨムグァン教会
(염광교회)

渡航時期

2024年12月6日～
2024年12月9日

私は生まれつき左利きで、幼少期から日常生活で不便を感じる事が多々あった。そのため、左利き者も過ごしやすい社会をつくれるような活動を行いたいと考えている。その中で、日本に限らず国際的に利き手にどのような印象があるのかを調査することは、左利き者も過ごしやすい社会の実現に必要不可欠であると考えている。本調査ではその一環として、日本と韓国で利き手に関してどの程度印象が異なるのかをアンケート調査にて明らかにした。

ヨムグァン協会(염광교회)にて利き手の印象調査アンケートを行ったり、実際に生活してどのように感じているのかお話を聞くことで、本プロジェクトの目標である「左利きも過ごしやすい社会に」を実現するために必要なことについて考えることができた。日本で得た調査結果と比較することで、国や地域による感じ方や大切にすものものの違いを実感することができた。

韓国と日本は隣国で、歴史的、文化的に似ている面もあるが、異なっている部分もある。利き手や書字への感じ方を調査していく中で、自分と異なることを知ろうとすることがコミュニケーションにつながり、理解促進への一歩になるのだと学んだ。これは、今後より一層本調査を進めていくときも一緒だと考え、今後も意識して生活していきたいと考える。

教えて？このプロジェクトで得たこと

渡航前にアンケートの設問を自作し、韓国語に翻訳したうえで配布し回答してもらった。しかし、アンケートを回答してもらおう際にうまく聞きたいことが伝わっていない設問があった。そのため、日本語、韓国語ができる方に協力してもらい、意図を説明したうえで回答してもらった。このことから、調査をするうえで自分の思い通りにならないことや、相手の立場や環境に合わせて設問を設定する必要があったと学んだ。また、すぐにコミュニケーションが取れる手段があることで、修正を即座に行えることを体感できた。

戒厳令が発令されてすぐの渡航だったため、計画通りの活動が難しかった。しかし、身の回りにも日本と似た作りになっているところや、異なる作りになっているところが多々あり、「これは利き手による使いづらさはあるのだろうか」と考えることができた。現地の左利き者が周囲におらず、実際に聞くことはできなかったが、出歩かなくても身の回りで過ごしやすい社会にするための課題発見は可能であると再認識できた。

聞かせて？これからのミッション

個人として・・・より一層視野を広め、身近な環境の中から利き手に関わらず過ごしやすい社会を形成できるようになりたいと考えるようになった。将来は教師として働きつつ、身の回りから利き手に関する課題発見などを行い続けたい。また、今回の渡航でコミュニケーションの大切さを何度も実感することとなった。様々な人とコミュニケーションを円滑にできるよう、日本語をはじめ英語や韓国語などの勉強に励みたいと思った。

団体として・・・今回の調査で得た結果をもとに、身近なことから左利きでも過ごしやすい社会の実現に向けて活動していく。今後はアンケート調査だけでなく、書字に関する実験も積極的に行っていきたい。また、利き手に着目して調査を行うことの魅力を発信し、同じ目標を持った仲間を増やし、活動を広げていきたいと考えている。

活動の軌跡

左利きの人も過ごしやすい社会に！書字時のストレス調査！
～言語によって感じるストレスは変わるのか？～

왼손잡이 오른손잡이 질문지
①당신은 어느손으로 글을 씁니까?
1.오른손 2.왼손
오른손으로 필기할때(왼손잡이)와 왼손으로 필기할때(오른손잡이)와 필기할 때의 차이가 있는가?
②당신은 필기할 때 어떤 자세를 취하고 있습니까(자유응답)?

오른손잡이는 필기할 때라고 생각합니까?
1.있다 2.없다
③ 필기할 때 왼손과 오른손은 어떻게 잡습니까. 어떻게 잡습니까?
오른손잡이에서 불편하다고 느낍니까?
1.있다 2.없다
④ 필기할 때 왼손과 오른손은 어떻게 잡습니까. 어떻게 잡습니까?
오른손잡이에서 불편하다고 느낍니까. 어떻게 잡습니까.

오른손잡이에서 불편하다고 생각합니까?
1.네 2.아니오
⑤ 필기할 때 왼손과 오른손은 어떻게 잡습니까. 어떻게 잡습니까?
오른손잡이에서 불편하다고 생각합니까?
1.네 2.아니오
⑥ 필기할 때 왼손과 오른손은 어떻게 잡습니까. 어떻게 잡습니까?
오른손잡이에서 불편하다고 생각합니까. 어떻게 잡습니까.



事前準備として韓国でのアンケート調査の回答者にお礼として渡すお菓子を準備した。日本の有名なお菓子で食べやすそうなものを選んだ。

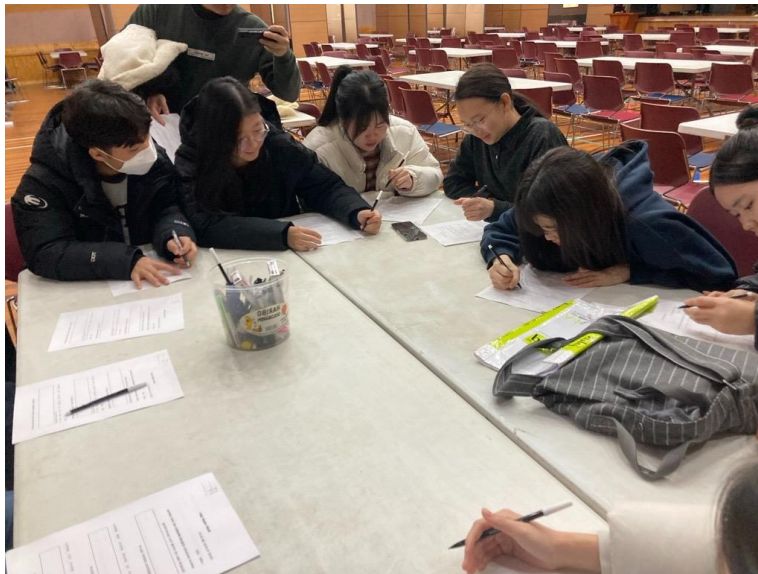


調査を行うヨムグァン教会(염광교회)の外観。この日はいつもより盛大に礼拝が行われる日だったらしく、教会内には多くの人がいた。3階まである会場で礼拝を行っていた。

事前準備で作成した韓国語版の利き手の印象調査アンケート。当日は紙に印刷し配布した。



調査を行っている理由とアンケートの概要を事前に練習した韓国語で説明している様子。つたない話し方だったが、皆理解しようとしながら聞いてくれた。うまく伝わらなかった部分は、韓国語と日本語ができる方に追加で説明していただいた。つたなくても韓国語で話すことで、参加者との心理的な距離が縮まったように感じた。また、語学をより一層勉強したいと思うきっかけにもなった。



アンケートに回答していただいている様子。高校生を対象に行った。アンケートの設問は、右利き者には①左利きにどのようなイメージを持っているか、②左利きに不便なイメージはあるか、③右利きで不便なことはあるかを聞いた。左利き者には①左利きでよかったか、②左利きで不便なことはあるか、③右利きに不便なイメージはあるかを聞いた。回答者は右利き6名、左利き4名の計10名であった。

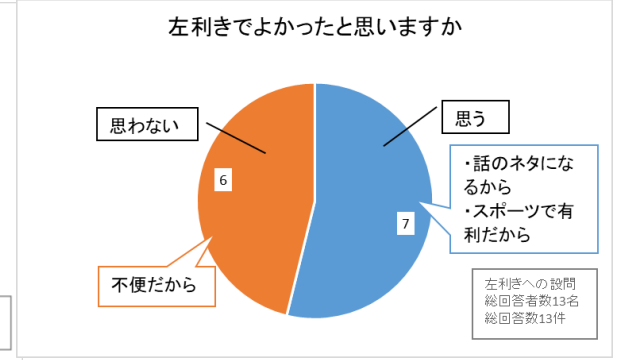
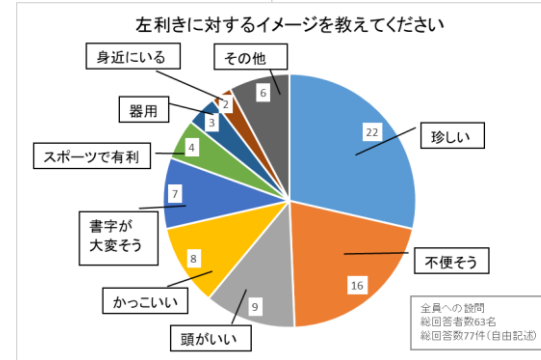
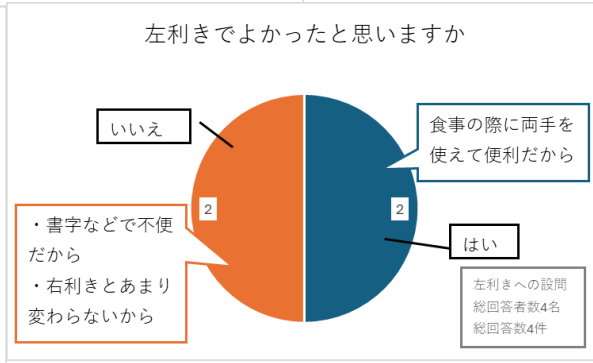
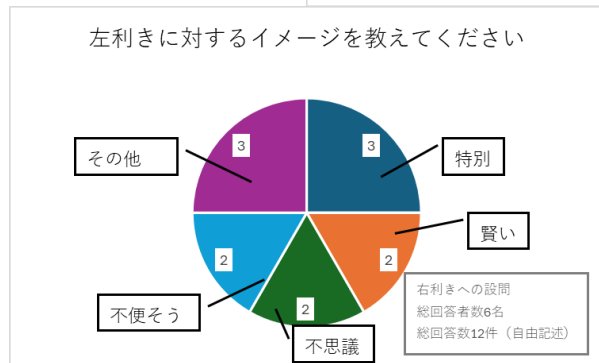
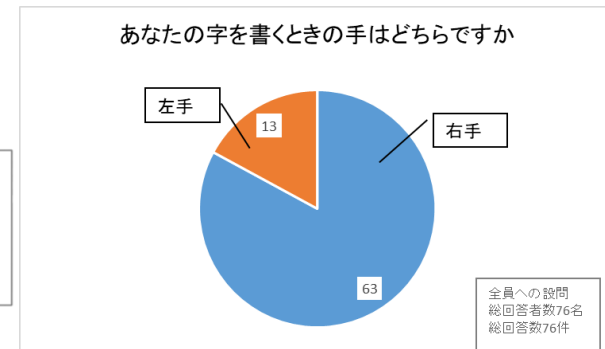
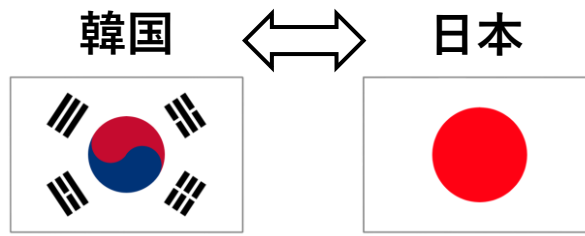
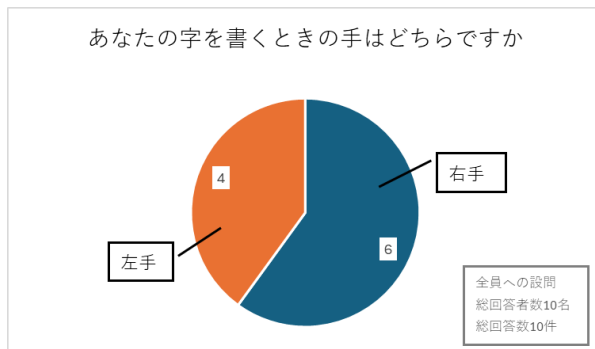


アンケートを回答していただいた後に、日本語を勉強している方たちと話をした。韓国と日本の違うところや、お互いの国の気になる文化などを聞きあった。中でもバスの乗り方の違いが記憶に残っている。日本ではバスがバス停に停車してから乗客が降車するが、韓国では停車する前に降りる準備をし、停車したらすぐ降りられるようにしなければいけない。その理由として、何事も早ければ早いほうがいいというパリパリ(빨리빨리)文化が韓国にはあるからだと知った。バス以外にも街中にパリパリ文化が現れているところが多くあり、日本との違いに驚いた。

2024年度島根県立大学グローバル人材育成支援事業

活動の軌跡

左利きの人も過ごしやすい社会に！書字時のストレス調査！ ～言語によって感じるストレスは変わるのか？～



韓国でのアンケート結果の一部。右利き者に聞いた「左利きに対して大変そうだったことはありますか」の質問には6人中5人がはいと答え、その理由として5人全員が書字を挙げていた。「右利きで不便と覚えることはありますか」の質問には6人中1人がはいと答え、ノートのスプリングが当たると回答した。

左利き者に聞いた「左利きで不便と覚えることはありますか」の質問には4人中1人がはいと答え、その理由として書字を挙げた。「右利きに対して大変そうと覚えたことはありますか」の質問には、4人中1人がはいと答え、歯を磨いてご飯を食べるときと回答した。

日本での調査として、韓国語版と同じ内容のアンケートをMicrosoft Formsを用いて行った。実施期間は2025年1月20日～31日とし、匿名回答で行った。対象者は島根県立大学松江キャンパス学生で、76名が回答した。

グラフは日本のアンケート結果の一部。右利き者に聞いた「左利きに対して大変そうだったことはありますか」の質問には63人中57人がはいと答え、その理由として道具を使う時や書字の時という答えが多く挙げた。「右利きで不便と覚えることはありますか」の質問には62人中1人がはいと答え（無回答1）、縦書きの文章を書くときと回答した。

左利き者に聞いた「左利きで不便と覚えることはありますか」の質問には13人中12人がはいと答え、その理由として道具を使う時と書字の時を挙げた。「右利きに対して大変そうと覚えたことはありますか」の質問には、13人全員がはいと回答した。

結果・考察

本調査の結果、日本と韓国の利き手に対する印象を比較したところ、韓国では左利きに対するイメージが「特別」「賢い」「不思議」など一定の方向に統一されている可能性が示唆された。本調査での韓国の左利き者の割合は日本より多く、身近に左利き者がいることから統一されたイメージを持ちやすい環境にあったと考察できる。この結果が本調査の参加者のみなのか、韓国での左利き者のイメージとして定着しているかを調べるために、より多くの韓国人への調査が必要である。

また、「左利きでよかったですか」の質問に「思う」と答えている割合は日本と韓国で大きく変わらないものの、その理由に差が見られた。日本では「話のネタになる」という回答が最も多かったが、韓国では「食事の際に両手を使うことができるためスムーズに食事でき便利だから」と全員が回答していた。この結果は、日常生活で大切にされていることの違いが現れていると考えられる。韓国では食事が大切にされているため、左利き者にとって食事の際に便利なことが一番のメリットであり、日本では食事よりも会話などが大切にされているため話のネタになることが一番のメリットであると考えられる。この質問への結果は国や地域によって大きく異なることが予想されるため、今後は日本と韓国以外でも調査を行いたい。

なお、本調査のテーマは「言語によって感じるストレスは変わるのか？」であったが、目的である言語間での比較が十分にできなかったため、今後は日本語と韓国語という言語に着目してストレスを検証していきたい。

展望

本調査では、スケジュール管理の甘さや予測していない事態があったことから、特に韓国での調査で予定通りの調査ができなかった。そのため、日本と韓国のアンケート回答者数に差が開いているため詳しい考察が行えなかった。今後は、Microsoft Formsなどを用いて、オンライン上でアンケート調査を継続していきたい。

また、今回得た結果をもとに左利きが過ごしやすい社会を実現するために必要な調査を追加で行ったり、課題解決方法を模索したりしながら、活動を広めていきたい。